



今村 定一

質問

就任1年いまだ施策が形として示されていない。広報コラムで対外的には湯沢の姿を言葉にしているが、町民には町の姿を示していないのはなぜか。

「二流の観光地を止め一流の田舎町を目指す」と言っているが、具体的な方向とまちづくりを、何時どの時点で示し協力を求めるのか。

町長答弁

観光の町として一流の田舎町にするには、まず人と人との豊かなつながり。見知らぬ人にも笑顔で挨拶してくれる町。景観以上に心を引かれる清潔な町。親切で誰にでもこやかな表情で接し教えてくれる町。人情豊かな人とのつながりを自分たちの手で作

町の方向と施策・町民への周知はいつか

ることが、基本理念としてある。

湯沢の現状は観光地としてはリピーターの多い町であり、消費者を日本海へと広げる県の玄関口としての絶好の場所であることを再認識し、県とタイアップして、県のナビゲーション的役割を湯沢駅に設置し、町の風土や歴史、人の魅力を伝えると共に、県の玄関口としての機能も生かし、湯沢に少しでも足を止めてもらえるようなまちづくりを考えている。

質問

人口増加策としての「湯沢に住んでみませんかキャンペーン」についても具体的な姿が見えていないが、現状はどう進んでいるのか。

町長答弁

このキャンペーンについても担当課で方策を検討中であり、県とタイアップしての事業化であり、町が一方的に走

り出すことはできない現状である。県との共同歩調が決定してからでも遅くはないと思っている。

いじめ問題の対策と対応

質問

今年ほどいじめによる自殺が表面化した年はない。まさに連鎖的とも受け止められる。この悲惨な出来事をどのように受け止めているか、また町としての対応と対策は、子供達のケアの方策はできているのか。

教育長答弁

現状と事態は教育委員会としても重く受け止めている。幸い町の現状ではいじめの報告は無い。いじめとして認識するか否かの判断は難しい

と承知している。町の現状と対応については課長が答弁します。

学校教育課長答弁

いじめの定義については文部科学省や県から通達はありませんが、町教育委員会としても研究・協議を重ねています。町としていじめに対する文書のマニュアルは作ってないが、早期発見・早期対応を实としている。学校現場の担当が一番子供の様子が分かるので変化を見落とさないように、また親・家庭でも子供の様子に目を向けるように、教育委員

会として対応しているところでありませぬ。

地域の伝承文化の支援策

質問

町の地域にも昔ながらの伝承芸能と言われる神楽が存在し、伝承が途絶えては復活するの繰り返しで現状である。伝承を継続する難しさに、町として積極的な支援が必要である。

「文化の香り高い町」この観点からも考えるべき町の対応は。

町長答弁

伝承芸能と言われている大和神楽については子供の頃見ただけで現状を承知しているが、昔ながらの地域文化の継承は大切なものと承知している。

趣味でやっていることを好きな人が継承していくことは容易である。もっと広く興味のある人達を募っていくことも一考だと思ふ。

教育長答弁

(時間切れにて答弁を聞くことができませんでした。)



湯沢駅構内に県とタイアップした観光案内の拠点を設置できるのか

一般

質問

質問